

秋の到来 (LA VENUE DE L'AUTOMNE)

9月23日「秋分の日」(l'Automne(l'équinoxe d'automne))を期して本格的な秋を迎え、部屋の中程まで射し込むようになった陽光を“暖かい”と感じるようになりました。このところ気持ちの良い晴れの天気が続いていますが、並木のマロニエは枯葉が進み、マロンが落ちてきて、時には車のボンネットを直撃、大きな音にビックリすることもあります。

秋は催事も盛んで、各種の競技大会が開かれ、お手伝いしている幼稚園でも大空の元で“運動会”、綱引き、大玉転がし、リレー競争、お父さんやお母さんも参加して“パン喰い競争”など、賑やかに楽しく過ごしました。展示会や見本市、例えば“パリ・モーター・ショウ”(Paris MONDIAL DE L'AUTOMOBILE 2014)が10月4日から19日迄ポルト・ド・ヴェルサイユの展示会場(PARIS EXPO Porte de Versailles)で開催されます。それに“芸術の秋”に相應しく、手元の案内書を見ますと、パリ市内の美術館だけでも大小178の展覧会が開かれています。

朝市を覗きますと、ブドウ、梨、リンゴなど色とりどりの果物と一緒に秋の味覚“キノコ”が山と並んでいます。ジロル茸(*la girolle*)、ヒラタケ(*le pleurote*)、“羊の足”茸(*le pied de mouton*) (日本では何と云う名でしょうか)、真っ黒なクロラッパ茸(*la trompette de la mort*) (直訳すれば“死のトランペット”?) 形が松茸に似ているセープ茸(*le cèpe*)、この頃は椎茸(*le shiitaké*)も売られています。今夏は雨が多かったので、各地の森では“キノコ狩り”(la chasse 又は la cueillette aux champignons)も盛ん、セープ茸やイグチ茸(*le bolet*)そしてアミガサ茸(*la morille*)などが採れるそうですが、パリの近くではランブイエ(*Rambouillet*)やフォンテヌブロー(*Fontainebleau*)の森がよい

とか。しかし採っ

たキノコが食べ

られるか有毒か

(les

champignons

comestibles ou

vénéneux) は最

寄の薬局で調べ

てもらふ必要が

ありそうです。朝

夕の何か懐かし

いような匂いに、

大気が冷えてき

ました。夜ともな

れば石造りの建

物は寒い位、暖房

が入る10月中

旬迄の我慢です。





本名カトリーヌ・マリー・アニェス・ファール・ド・サン・ファール (née Catherine Marie-Agnès Fal de Saint Phalle)、アメリカ人の資産家の娘を母親に、フランス人で名家の銀行家を父親として、1930年にパリ郊外の高級住宅地ヌイイ (Neuilly-sur-Seine) に生まれ、ニューヨークのパーク・アヴェニューで育った良家のお嬢さん。生まれ育ちがよく、プリンセスの様に綺麗な彼女が「反逆者」の道を選んだのは何故か (Aussi bien née et aussi belle qu'une princesse, pourquoi elle a choisi d'être une rebelle ,,,, ?)、数々の特徴ある作品を生んだ芸術家としての背景、家族の秘密を探る興味ある展覧会です。(L'exposition lève le voile sur les secrets de famille qui ont fait naître son oeuvre.)

11才の時父親に力づくで犯され、厳しいカトリックの学校では、神様の存在を頑強に否定し、学校のホールに立つギリシャ彫刻の“無花果の葉”を真っ赤に塗ってしまったり、

先生のシスター達を手こずらせました。18才の時、ハリー・マッシュという著述家と無理やりに結婚させられ、2人の子供を儲けますが、その後離婚、22才の時には精神分裂症という事で精神病院へ入院、電気ショック療法を受けました。(Elle a été traitée par électrochocs pour schizophrénie à 22 ans). 1994年、彼女は「私の秘密」と題した本を著わし、子供の頃の悲劇を暴露しています。(En 1994, dans son livre « Mon secret », elle dévoile la tragédie de son enfance.)。いつしか彫像の“無花果の葉”を真っ赤に塗った時の爽快な気分が心に残り、芸術の道へ入るのですが、ベトナム戦争、消費過多の世の中、エイズの流行、、、といった社会的環境に対する抵抗に変わりなく、父親への復讐の気持ちも加わって、キャンバスに絵の具を入れた袋を吊るし、それを銃で撃って作ったもの、等々、しかし世間は“甘やかされて育った子供の作品”と取り扱ってはくれませんでした。

それが1960年代に知り合ったジャン・タンゲリと一緒にあってからは落ち着いたのか、この« une sacrée NANA » 「すげえ女」「ずば抜けた女」は « NANA » (女) (男は MEC) を強調するようになり、明るい彩色の豊かで円く大きな女性像を制作、(例: « Leaping NANA » (1970), « La Temperance » (1982),,,,,) 1960年代の新現実主義に於ける唯一人の女性 (Seule femme du mouvement des nouveaux réalistes dans les années 1960) として世界的に有名になりました。アメリカで流行の表現主義とヨーロッパに於ける新現実主義が混じり合った画風の自画像もあります。(Autoportrait (1958/59) - un mélange d'expressionnisme en vogue aux États-Unis et de nouveau réalisme en Europe)

画家であり、彫刻家であり、映画監督も務めたニキは、マヌカンとしてもヴォーグ、ライフ、エルなどに掲載されましたが、制作に使う噴霧器による塗料、薬品やプラスチックを吸い込んでいたのでしょう、肺を侵され、2002年5月、呼吸器不全で71才の生涯を閉じました。普段はポンピドー・センターの建物に向かって右側の広場に、ニキとジャン・タンゲリ 共作 « La Fontaine Stravinsky »(1983)が見られます。今回はこのポンピドー・センターで開かれた最初の回顧展から20年振りの大回顧展となります。



Galleries nationales du Grand Palais

- アドレス :
3, Avenue du Général Eisenhower
75008 Paris
- メトロ : Champs Elysées Clémenceau
- 2015年2月2日迄(火曜休館)
- 日曜、月曜 10時-20時
- 水曜-土曜 10時-22時
- 入場料 13ユーロ

Dolorès, 1968-1995, 550 cm, Résine peinte / grillage, Sprengel Museum, Hanovre, © 2014 Niki Charitable Art Foundation, All rights reserved. Donation Niki de Saint Phalle -

(*ある日ラスパイユ通りの小さな画廊で見たリトの詩が気に入りました

« Our love was a beautiful flower, it grew, and grew and grew. The sun helped it grow, the rain helped it grow, and it blossomed fantastically. Winter came and the petals started to fall, and then the flower died. I took the last petals and put them in a box and I locked the box in my heart » (Love forever) – Niki de Saint Phalle –

そしてある日ニースの Musée d'Art moderne et d'Art contemporain(MAMAC Nice)でオリジナルに出会いました(菅)



Saint Sebastien (Portrait of my lover) © 2014 Niki Charitable Art Foundation, All rights reserved

パリ自然史博物館“推移大ギャラリー”20年を祝う
(LA GRANDE GALERIE DE L'EVOLUTION FETE SES 20 ANS)



創設 1793 年、王侯貴族の狩猟の獲物を公開したのが始まり、更に 1889 年パリ万博の機会に出来た現在の建物に、研究用に動物達を剥製 (l'empaillage) にして保存、その後戦災で大破、放置されたままでしたが、1990 年に改築、1994 年に剥製の動物達 1800 体を、まるで大平原を行進するかの様に大ホールの真ん中に堂々陳列して一般公開したところ、その眺めは「ノアの箱舟」のよう、大変に壮観と好評を博して今年で 20 年、照明も LED に換え、より見易くなりました。



・アドレス：

<La Grande Galerie de l'Evolution>

36, rue Geoffroy Saint-Hilaire

75005 Paris

・メトロ：Place Monge 下車

・火曜休館

・毎日 10 時 - 18 時

・入場料 9 ユーロ



2014 年 10 月 1 日 (水) Sainte Thérèse 日の出 07 時 49 ・日の入 20 時 29 気温：パリ朝夕 14℃ ・日中 24℃晴天、ニース 19℃ ・25℃晴天、ストラスブール 12℃ ・22℃晴天 「皆様、実り豊かな秋を」 菅